

平成29年度 各事業会計決算の概要

1. 電気事業会計

石見空港太陽光発電所の運転開始(H29.6)、八戸川第一発電所2号機の通年稼働などにより、前年度を上回る利益を確保

損益計算書

(単位:百万円)

区分	H29年度	H28年度	比較増減	主な増減理由(対前年)
1 営業収益(A)	2,555	2,248	307	
2 うち水力発電電力料	1,588	1,514	74	八戸川第一2号機運転再開による増+62
3 うち風力発電電力料	689	578	111	江津高野山故障停止時間の減+112
4 うち太陽光発電電力料	266	150	116	石見空港太陽光運転開始(H29.6)による増+113
5 財務収益、事業外収益(B)	200	165	35	退職手当(知事部局等)の増+41
6 営業費用(C)	2,064	2,038	26	
7 うち減価償却費	809	757	52	石見空港太陽光運転開始(H29.6)による減価償却費の増+58
8 財務費用、事業外費用(D)	91	53	38	退職手当(知事部局等)の増+41
9 当期経常利益(A+B-C-D=E)	600	322	278	
10 特別利益(F)	176	1	175	災害共済費(風力罹災による共済金)の増+147
11 特別損失(G)	66	78	△12	退職給付引当金への繰入(H26~28)の減△78 大峯3号機撤去に伴う除却損の増+66
12 当期純利益(E+F-G)	710	245	465	

《施設別損益状況:当期純利益》

(単位:百万円)

区分	H29年度	H28年度	比較増減	主な増減理由(対前年)
13 水力発電	462	242	220	電力料収入の増+74 固定資産除却費の減△112
14 風力発電	182	△47	229	電力料収入の増+111 特別利益(災害共済費)の増+147 特別損失(大峯3号機除却損)の増+66
15 太陽光発電	66	50	16	電力料収入の増+116 減価償却費の増+58

2. 工業用水道事業会計

飯梨川工業用水道事業、江の川工業用水道事業とも3年連続の黒字を計上

損益計算書

(単位:百万円)

区分	H29年度	H28年度	比較増減	主な増減理由(対前年)
1 営業収益(A)	177	177	0	
2 うち給水収益	176	177	△ 1	飯梨川工水売水量の減(1社減)
3 営業外収益(B)	24	25	△ 1	
4 営業費用(C)	159	150	9	飯梨川工水修繕費の増+5 ダム管理費負担金の増+3
5 うち減価償却費	64	61	3	江の川工水固定資産の増+3(H28水管橋耐震対策工事、取水場自家発電設備更新)
6 営業外費用(D)	7	8	△ 1	
7 当期経常利益(A+B-C-D)	35	44	△ 9	
8 当期純利益	35	44	△ 9	

9 累積欠損金	1,340	1,376	△ 36	
---------	-------	-------	------	--

《施設別損益状況:当期純利益》

(単位:百万円)

区分	H29年度	H28年度	比較増減	主な増減理由(対前年)
10 飯梨川工業用水道	32	39	△ 7	修繕費の増+5、負担金の増+3、給水収益の減
11 江の川工業用水道	3	5	△ 2	減価償却費の増+3

3. 水道事業会計

江の川水道は134百万円の黒字だったが、料金改定、修繕費等の増もあり、□
飯梨川水道は1百万円の赤字、斐伊川水道は18百万円の赤字

損益計算書

(単位:百万円)

区分	H29年度	H28年度	比較増減	主な増減理由(対前年)
1 営業収益(A)	1,613	1,670	△ 57	
2 うち給水収益	1,612	1,669	△ 57	飯梨川は増+12、斐伊川は減△69、江の川は微増
3 営業外収益(B)	353	442	△ 89	受託工事収入の減△77(H28江の川水道送水管移設)
4 営業費用(C)	1,676	1,673	3	
5 うち減価償却費	1,094	1,095	△ 1	
6 営業外費用(D)	179	278	△ 99	受託工事費の減△77(H28江の川水道送水管移設)
7 当期経常利益(A+B-C-D=E)	111	162	△ 51	
8 特別利益(F)	4	0	4	建設負担金(山佐ダム)返還金
9 当期純利益(E+F)	115	162	△ 47	
10 累積欠損金	499	614	△ 115	

《施設別損益状況:当期純利益》

(単位:百万円)

区分	H29年度	H28年度	比較増減	主な増減理由(対前年)
11 飯梨川水道	△ 1	10	△ 11	給水収益の増+12、修繕費の増+27
12 斐伊川水道	△ 18	55	△ 73	給水収益の減△69、修繕費の増+9
13 江の川水道	134	96	38	修繕費の減△24、委託料の減△15

4. 宅地造成事業会計

営業収益は、江津地域拠点工業団地の売却により増加したものの、売却原価の計上
と江島工業団地で販売宅地の時価評価損が増加したこと等により、5百万円の赤字

損益計算書

(単位:百万円)

区分	H29年度	H28年度	比較増減	主な増減理由(対前年)
1 営業収益(A)	188	122	66	売却収入の増
2 営業外収益(B)	1	1	0	
3 営業費用(C)	194	122	72	宅地売却原価の増、資産減耗費(販売宅地の時価評価損)の増
4 営業外費用(D)	0	0	0	
5 当期経常利益(A+B-C-D)	△ 5	1	△ 6	
6 当期純利益	△ 5	1	△ 6	
7 累積欠損金	14	9	5	